

2023年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年12月14日

上場会社名 VALUENEX株式会社
 コード番号 4422 URL http://www.valuenex.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 中村 達生
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 CFO (氏名) 鮫島 正明 TEL 03 (6902) 9833
 四半期報告書提出予定日 2022年12月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年7月期第1四半期の連結業績（2022年8月1日～2022年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期第1四半期	129	12.9	△23	-	△24	-	△24	-
2022年7月期第1四半期	114	21.3	△34	-	△21	-	△21	-

(注) 包括利益 2023年7月期第1四半期 △18百万円 (-%) 2022年7月期第1四半期 △19百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年7月期第1四半期	△8.61	-
2022年7月期第1四半期	△7.66	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年7月期第1四半期	855	719	83.8
2022年7月期	967	736	75.8

(参考) 自己資本 2023年7月期第1四半期 716百万円 2022年7月期 733百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年7月期	-	-	-	-	-
2023年7月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年7月期の連結業績予想（2022年8月1日～2023年7月31日）

2023年7月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であると判断したため記載しておりません。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年7月期1Q	2,892,300株	2022年7月期	2,889,300株
② 期末自己株式数	2023年7月期1Q	54,000株	2022年7月期	54,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年7月期1Q	2,836,246株	2022年7月期1Q	2,828,100株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は同日にTDnetで開示及び当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6
3. その他	6
継続企業の前提に関する重要事象等	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「世界に氾濫する情報から”知”を創造していく」ことをミッションとし、他に類のない自然言語処理・類似性評価・2次元可視化・指標化等の技術により、さまざまな文書情報を用いた各種の解析サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大策としての活動制限が緩和されることによる景気回復が期待される一方、急激な円安による為替相場の変動やロシアのウクライナ侵攻に起因した資源価格の高騰など、依然として先行き不透明な状態が継続しています。

このような環境の下、当社グループは、引き続き国内及び海外におけるコンサルティングサービス及びASPサービスのさらなる販売拡大に取り組んだ結果、国内のASPサービスを中心に順調に受注してまいりました。また、営業活動等で必要な人材の採用を行いまして、採用は2名となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は129,005千円（前年同期比12.9%増）、営業損失は23,732千円（前年同期は営業損失34,041千円）、経常損失は24,226千円（前年同期は経常損失21,345千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は24,411千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失21,672千円）となりました。

なお、当社グループはアルゴリズム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

主なサービス別の状況は以下のとおりであります。

(a) コンサルティングサービス

当第1四半期連結累計期間におけるコンサルティングサービスの売上高は、42,612千円（前年同期比7.6%減）でありました。

(b) ASPサービス

当第1四半期連結累計期間におけるASPサービスの売上高は、84,956千円（前年同期比29.0%増）でありました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は780,864千円となり、前連結会計年度末に比べ112,225千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が109,220千円、売掛金が8,359千円減少し、仕掛品が5,168千円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は74,324千円となり、前連結会計年度末に比べ443千円減少いたしました。これは主に減価償却等によって有形固定資産が減少したことによるものであります。

この結果、総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ112,668千円減少し、855,188千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は134,912千円となり、前連結会計年度末に比べ95,895千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が25,301千円、前受金が30,267千円、その他流動負債が40,106千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は674千円となり、前連結会計年度末に比べ4千円増加いたしました。これはその他固定負債が113千円増加し、リース債務が108千円減少したことによるものであります。

この結果、負債の残高は、前連結会計年度末に比べ95,890千円減少し、135,587千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は719,601千円となり、前連結会計年度末に比べ16,777千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失を24,411千円計上し、為替換算調整勘定が5,819千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難であると判断したため記載しておりません。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	820,451	711,230
売掛金	40,081	31,721
仕掛品	5,513	10,682
その他	27,044	27,230
流動資産合計	893,090	780,864
固定資産		
有形固定資産	52,640	52,320
投資その他の資産	22,127	22,003
固定資産合計	74,767	74,324
資産合計	967,857	855,188
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,167	4,367
リース債務	435	435
前受金	139,418	109,150
未払法人税等	25,374	72
賞与引当金	-	579
その他	60,413	20,307
流動負債合計	230,808	134,912
固定負債		
リース債務	471	362
その他	198	312
固定負債合計	670	674
負債合計	231,478	135,587
純資産の部		
株主資本		
資本金	531,458	532,391
資本剰余金	544,627	545,560
利益剰余金	△326,457	△350,869
自己株式	△22,500	△22,500
株主資本合計	727,128	704,582
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,378	12,197
その他の包括利益累計額合計	6,378	12,197
新株予約権	2,873	2,822
純資産合計	736,379	719,601
負債純資産合計	967,857	855,188

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2021年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2022年10月31日)
売上高	114,232	129,005
売上原価	23,760	29,481
売上総利益	90,471	99,524
販売費及び一般管理費	124,512	123,256
営業損失(△)	△34,041	△23,732
営業外収益		
受取利息	2	3
助成金収入	13,023	-
その他	0	0
営業外収益合計	13,026	3
営業外費用		
支払利息	17	4
為替差損	314	492
営業外費用合計	331	496
経常損失(△)	△21,345	△24,226
税金等調整前四半期純損失(△)	△21,345	△24,226
法人税、住民税及び事業税	326	185
法人税等合計	326	185
四半期純損失(△)	△21,672	△24,411
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△21,672	△24,411

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2021年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2022年10月31日)
四半期純損失(△)	△21,672	△24,411
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,203	5,819
その他の包括利益合計	2,203	5,819
四半期包括利益	△19,469	△18,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,469	△18,592

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年8月1日 至 2021年10月31日)

当社グループは、アルゴリズム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2022年10月31日)

当社グループは、アルゴリズム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。